



肩の上にどんぐりの実が

学 園 長 小 島 澄 人

久し振りに登場しますが、私には今でも絵本の原画とお便りが、「しまずよしのり」先生から毎日届きます。絵画、絵本原画、木彫、約20年近く毎日一点は届きます。本当に有り難いし待ち遠しい。先日、私の心境に響く言葉が届きました。

森の中を歩いていたら

肩の上にどんぐりの実がおちてきた

なんだかお母さんが

上の方から声をかけてくれたのかと思ったよ

久し振りに母を思い出しました。以前は何か悩んだり落ち込んだ時は、必ず母を思うとなぜかどんなことも乗り越えられた。幼い時励まされ支えられて頑張れたこと、それが大人になっても私の頑張りの源だった。最近気弱になる自分を感じていた。そう、その間、私から母が消えていた気がする。学生時代、いつも長々と父が筆や万年筆で、手紙というより書簡みたいな物を送ってきた、その最後に、必ず母が、「余り無理するなよ」「あまり勉強ばかりするなよ」「友だちと仲良くね」「風邪引くなよ」・・・、このどれかの簡単な言葉、しかも、鉛筆で最後に添えて、封をして投函したようでした。この最後になるとなぜか涙した、思い出です。

どんなどんぐりの実が落ちてくるのかな。昔の言葉かな、父のような厳しい叱咤激励調かな。エールかな、げんこつかな、頑張ってるねとのねぎらいかな。なんでもいい、母の言葉が欲しい、幾つになっても母に甘えたい自分がいる、少々あきれています。

認めて欲しい

励まして欲しい

思い切って叱りつけて欲しい

まだまだ年寄りでもなんでもない、その一言が欲しい

鉛筆でそっとさりげなく添えた一言が欲しい



年長さんが卒園する時が来ました。園長として、どんなどんぐりの実を肩の上に落としてあげたら良いのかなあ。父のような励ましかな、今まではそうでした。毅然と大切な色々をしっかりと伝えたい。母のような励ましは、先生に任せよう、そしてお母さんに任せよう。みんなで子どもたちの門出を祝い、励まし、見守りたいですね。

進級する子どもたちも同じです。新しい先生、おともだち、転園する、いろんな思いを抱えた子どもへの言葉掛け、やはり、母のような語りかけですね。

いよいよ3月、年度の思いを補い、悔いの無い関わりをしていきたいと思います。